



しあわせ信州

伊那建設事務所だより

R2. 8.25 VOL10

今回は伊那建の仕事を支える備品たちを紹介します。

その1 測る

- 正確な測りだしは、計画・設計・維持・管理の基本です。
- トータルステーションでは、距離・角度が正確に測れます。
- オートレベルは、より簡単に高さが確認できます。



トータルステーション



オートレベル※1

その2 撮る

- 建設事務所では、道路橋や治水・砂防ダムなど、巨大な構造物を扱います。
- このため全体像の把握には、上空からの写真や動画が有効です。
- 従来ヘリ調査でしか得られなかった画像も、ドローンで手軽に入手できます。



ドローン



ドローンは、モニタ画面を見ながら
コントローラーで操作します※2

※1,※2：写真は紹介用に撮影したもので、実際に測量や操作を行っている状況ではありません。

その3 診る

- 建設事務所では、道路構造物（法面、橋梁、トンネル）、河川・砂防構造物（護岸、樋門、ダム）など膨大な数の構造物を維持・管理しています。
- これらの構造物が安全に機能するには、技術者による点検や補修が必要です。
- また、健全性を現地で適切に判断するため、作業時の安全確保は欠かせません。



フルハーネス（130kg以下対応）



最高の備品はなんと言っても人材です※3

その4 伝える

- プロジェクターとスクリーンは、地元説明会の必需品です。
- 屋外の現場では、可搬式拡声器の使用で、大人数への説明が可能になります。
- また、A1プリンターは、地図に載るサイズの建設物の説明に適した優れたものです。



プロジェクター



説明用スクリーン※4



可搬式拡声器



A1プリンター

※3,※4：写真は紹介用に撮影したもので、実際に点検や説明を行っている状況ではありません。